

教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



# せんだんの木



伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No. 15 令和7年3月3日

今日3月3日は「ひな祭り」。人形を飾って災いを払い、女子の成長を祝う行事です。ひな人形を飾っているご家庭も多いのではないのでしょうか。

ひな人形は一般的に七段に分かれています。全体で、結婚式の様子を表しているとされ、人形の下には魔よけの赤い布を敷きます。一番上の段が男びなと女びな。結婚式でいうとお婿さんとお嫁さんですね。二段目は三人官女、三段目は五人囃子、四段目は右大臣左大臣の隨身、五段目は仕丁、六段目七段目は様々な持ち道具が飾られます。ひな人形は、昔から伝わる日本のしきたりを見ることができます。座席の順番や配膳の仕方などの日本の文化を学ぶこともできます。人形や道具それぞれに意味があるのです。そこで、今は図書室の「季節の本コーナー」に、ひなまつり関係の本を展示・紹介しています。伝統的な日本の行事の意味を理解していくことも大切にしたいものです。



## 【よい習慣は よい成果を生む ～ノートを取り、活用する力～】

先週、CRT（学力検査）の結果表を一人一人に返却しました。どの学年とも、全国と比べて到達度が高く、望ましい状態です。学年末にかけては、各学級において弱点補強に取り組み、新学年の学習がスムーズにスタートできるようにしていきます。ご家庭でもお子さんの到達状況を確認いただき、家庭学習などでのサポートをお願いします。

小中学校という義務教育段階では、授業を通して「学びの基礎」を確実に身に付けることが大切です。特に、毎時間の学習で使っている「ノート」がしっかりとれる、活用できる力を低学年の内から少しずつ身に付けてほしいと思います。

「ノート」には多くの役割や効果があります。

- 書く力や計算等の基礎基本を身に付ける（→学習理解や基礎学力が定着する）
- 調べたこと、分かったこと、考えたことを整理する（→自分の考えが明確になる）
- 学習したことや、自分の思考の過程や成果を残す  
（→学びを振り返り、復習や次時、家庭学習に活用できる）
- 仲間とノートを見合ったり、友だちの考えを書き加えたりする  
（→自分の考えが広まったり、深まったりする）
- 自分の学びや変容、成長に気付く（→学習意欲の向上や学習への充実感を得ることができる）

情報化社会が進む現代ですが、やはり「基本が大事」です。「ノート」で授業中の自分の学びを創意工夫しながら進め、日々の学習や家庭学習に活用する力をぜひ身に付けてほしいと思います。

ご家庭でも、お子さんのノートを見て、褒めたり、感想を伝えたりする「言葉かけ」で自信をもたせる、例えば「マス目に数字を書くと、位がそろって正しく計算できるよ」などとアドバイスをすると、「このとき、どんなことを考えたの？」と質問するなどしていただくと子供たちの学習意欲も高まると思います。

また、ノートを「最後まで使い切ること」がとても重要です。「最後まで使い切った」という達成感が「自分もやればできる」という自信に、そして「次もがんばろう」という意欲・向上心につながっていきます。つまり、ぐんぐん伸びるサイクルを作ることになるのです。

以下は6年生の社会科のノートです。「日付」「教科書のページ数」「めあて」「調べたこと」「授業のまとめ」がきちんと記されています。一時間の授業で見開き2ページを使っています。教科によって学習の流れは異なりますが、基本的に「めあて」→「調べる(自分で、グループで)」→「まとめる」→「振り返る」という流れで授業が進んでいるのが分かります。

<p>11月 13日</p> <p>P.94・95</p> <p>③新しい学問・蘭学</p> <p>蘭学は、どのような学問で、人々の考え方にどのような違いをあたえたのでしょうか。</p> <p>④蘭学(西洋の学問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の中ごろになると、洋書の輸入ができるようになる。→西洋の学問を学ぶ人々が増えた。</li> <li>杉田玄白、前野良沢がオランダ語の医学書をほん訳した。</li> <li>医学用語のほん訳に苦労し、4年の間に11回も書き改めた。</li> <li>「解体新書」を出版。</li> <li>蘭学に対する関心が、いっそう高まる。</li> </ul>	<p>11月 13日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊能忠敬：全国を測量し、日本地図を作成する。</li> <li>蘭学のえいきょう             <ul style="list-style-type: none"> <li>医学、地理学、天文学、兵学などの新しい知識や技術を学んだ人々</li> <li>→世界に目を向けて、政治や社会がこのままではいけないと考える。</li> </ul> </li> <li>幕府：外国船を打ちほらうように命じた。</li> <li>蘭学を学んだ人々の中には、幕府の動きを批判したために厳しくばっせられた人もいた。</li> </ul> <p>江戸時代の後半になると、杉田玄白や伊能忠敬といった優れた学者が活躍し、医学や測量学などの蘭学が生まれ、多くの人々の間に広がった。</p>
--	---

ある程度まとまった内容を学んだ後は、以下のように、自分の言葉で学びを再構成し、感想や意見を交えて「振り返る」ことができるようになります。

<p>2国の政治のしくみと選挙</p> <p>学習問題「わたしたちの国の政治は、国民の願いを実現し、国民の生活の安定と向上を図るために、どのような動きをしているのでしょうか。」についてまとめ、感想(分かったこと、気付いた事、おどろいたこと...など)やなぜ三権分立のしくみがあるのか、今後この学習をどう生かしていきたいかなど、自分の考えを書きましょう。</p> <p>※まとめる際、ことば【●選挙 ●国会 ●内閣 ●裁判所】を生かしましょう。</p> <p>この单元では、大きな「国会」「内閣」「裁判所」という機関を習いました。国会は、国で唯一の立法機関で、選挙で選ばれた国会議員が衆議院、参議院の二つの場で、予算などを話し合います。また、立法権があります。内閣は内閣総理大臣が中心となって国会で決めた法律や予算にもとづいて国民のために仕事を行います。仕事を受けるのは省庁です。また、行政権があります。裁判所では犯罪などの問題を法律にもとづいて解決し、国民の権利を守る仕事をしています。このことを司法といい、裁判所には司法権があります。この3つの機関は国の仕事を分たしておき、このしくみを三権分立、といいます。三権分立は権力が一か所に集まらず、行き過ぎが生じることを防ぐしくみです。</p>	<p>名前</p> <p>また、この单元では国会内閣、裁判所と国民の関わりについても学習しました。国民は国会に対して国会で話し合う国会議員を選挙することができます。国民は衆議院、参議院どちらの議員も選挙できます。内閣は国民に対して世論調査を行っており、国民の意見を政治に反映させています。国民は裁判所に対しては最高裁判所の裁判官に限ってやめさせたい方がよいと思う裁判官を選ぶことができることも分かりました。また、このことを国民審査とよびます。</p> <p>私は、国の政治の仕組みと選挙について学習して日本の政治は国民の意見を取り入れながら、3つの場で行われていることが分かりました。そして、国民の意見が政治に取り入れられているからこそ、国民は政治に関心を持ち、だれに投票するかよく考えてから投票すべきだと思います。これからは新聞を読んで政治の知識をつけたり、18才になったら、どのよう者が日本を良くしてくれるかよく考えて投票したいと思います。</p>
---	--



2/2 P.156 - 157

い か す  
 歴 史 の 学 習 を 充 分 に 返 顧 し、 学 ぶ だ  
 こ と を 考 え ま し ゃ う。  
 ① 歴 史 学 習 を 通 し て 明  
 私 は 国 史 の 学 習 を 通 し て、 明  
 治 の 単 元 に つ い て、 特 に ア メ リ カ 合 衆 国  
 の 使 者 を 幕 府 に 呼 び 込 ん で 開 国 を 促 した  
 領 事 の 役 割 の 重 要 性 を 考 え、 今 日 の 日 本  
 求 め る 歴 史 の 意 義 を 考 え、 今 日 の 日 本  
 関 心 の 点 を 考 え、 今 日 の 日 本  
 関 心 の 点 を 考 え、 今 日 の 日 本

(6年生の社会科ノート)

かか。ているのだからと思いましたが。  
 また、昔の人々がここまで日本を  
 築き上げてきたことを、こ木か  
 ろの人々に同じように受けついで  
 いきたいと思いたす。私は、も、  
 と深く歴史を学習して、今いる日  
 本を、自分たちでよりよくしたい  
 なと思いたす。



2/2 P.62 - 63

① 日本と関係の深い国を探そう  
 ここまでの学習や日ごろの生活  
 をふり返り、日本とつながりの深  
 い国を見つけて、話し合いたすよ  
 う。

② 外国との交流  
 ・スーパで、アメリカ産の牛肉  
 やブラジル産の鳥肉を販売  
 ・電化製品や洋服は、アジアの国  
 々をつくられているものがある。  
 ・アメリカや中国など、さまざま  
 な国に日本人が住む。  
 ・歴史やスポーツ、文化でも外国  
 とつながっている。

③ 日本とつながりの深い国  
 ④ アメリカ合衆国  
 ・日本から自動車や精密機械など  
 を輸出(輸出相手国第2位)  
 ・幕末にペリー来航  
 ・アメリカで活躍する野球選手

② 中華人民共和国  
 ・日本の企業が中国の市場に進出  
 ・日本から遣隋使や唐使を送る  
 ・横浜や神戸に「中華街」

③ フランス  
 ・フランスからたくさん人の観光客  
 ・ゴッホの絵の中に江戸時代の浮  
 世絵  
 ・フランスから伝わったガス灯

④ ブラジル  
 ・多くの鳥肉を輸入  
 ・日系人(日本人の移民)がたくさん  
 住んでいる  
 ・日本の企業がたくさん進出

日本は、ものや人の行き来や、  
 文化やスポーツなどの交流を通じ  
 て、世界のさまざまな国とつなが  
 りまわっている。



【目を大切に】

先日、ニュースで「令和5年度学校保健統計調査の結果で、裸眼視力1.0未満の割合が、小学校で3割を超え、中学校では約6割、高校では7割近くになっている」と報道されていました。

本校でも、裸眼視力1.0未満の子供の割合は、1年生では10%ですが、6年生になると47%まで増えて心配な状況です(学校全体では30%となっています)。

本校の子供たちもメディアを使う時間が多くなっている現状から、12月に「メディアコントロール」をテーマとして学校保健委員会を開催し、子供たち自身で現状と課題について調べ、メディアと上手につき合うために、どうしたらいいのか提言を作って全校に呼びかけました。

目を休める時間を作る 寝る前はメディアを使わない ルールを守ってメディアを使う 外で元気よく遊ぶ

また、学校医(眼科)の横田先生からは、

「長時間のメディア機器の使用が近視をすすめると言われていす。近視が進行すると様々な目の病気になりやすくなります。近視の進行を予防するために以下の点に気を付けメディア機器を使うようにしてください。①目と画面の位置は30cm以上離す、②30分画面を見たら20秒以上遠くを見て目を休める、③1日2時間程度の屋外活動(外遊び)を心がける。」

とアドバイスをいただいています。

文部科学省の資料にも、「視力低下や近視の予防には、屋外で過ごす時間を増やすことが有効」だとあります。この意味でも、本校の「外で遊ぼうDay」などの取組は意義のあることだと思いたす。大切な子供たちの健康です。協力して守っていきましょう。

【お願い ~安全な登下校~】

- 地域の方から、「登下校中、ポケットに手を入れたまま歩いている子供がいます。とても危ないと思いたす」という声をいただいています。手袋をして、安全な登校をしましょう。
- また、寒い中、旗振りをしてくださっている保護者の方や、交通指導員さんにも、明るく元気なあいさつができるように、ご家庭でもご指導をお願いします。